

- 経理上手くんα Pro II 【公益法人Ⅲ】 VERSION:11.103、【公益法人】 VERSION:12.103
- 経理上手くんαクラウド Pro II ・経理上手くんαクラウド SE Pro II
【公益法人Ⅲ】 VERSION:11.103、【公益法人】 VERSION:12.103

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 仕訳入力

手形関連科目のない仕訳の一括修正で、手形期日の一括修正に対応しました。

原票読取時のキャンセルを廃止し、[End 処理終了]押下で保存するかを確認するよう対応しました。

➤ 科目設定・残高登録

科目設定・残高登録の科目設定・変更タブの画面で会社選択ボタンを押して、インボイス未対応マスターを選択すると不正終了していたのを修正しました。

仕訳に使用中の枝番であっても、番号の変更、削除ができてしまう場合があったのを修正しました。

◆ 出力

➤ 総勘定元帳

出力した際に、イメージ摘要と科目名称とが重なって印字されていたのを修正しました。

➤ 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

令和5年10月1日以降の簡易課税マスターで別記を使用して仕訳を入力した場合に、消費税額試算表の事業区分別の売上高の合計に仮受消費税等が加算され税込表記になっていたのを、税抜表記になるよう修正しました。

◆ 通信・移動

➤ マスター&データ抽出

月指定のデータ入れ替えで空白のエラーダイアログが表示され不正終了する場合があったのを修正しました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“公益法人Ⅲ d b (VERSION:11.103)、公益法人 d b (VERSION:12.103) の変更点”を参照してください。

ご注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

公益法人Ⅲ d b (VERSION:11.103)

公益法人 d b (VERSION:12.103) の変更点

改良・修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①手形関連科目のない仕訳の一括修正で、手形期日の一括修正に対応しました。

例) 一括修正で手形期日に「06.06.06」と入力して修正開始

手形番号 :	<input type="text"/>	⇒	<input type="text"/>
手形期日 :	<input type="text"/>	⇒	06.06.06

手形関連科目でない場合は、修正していなかったのを、

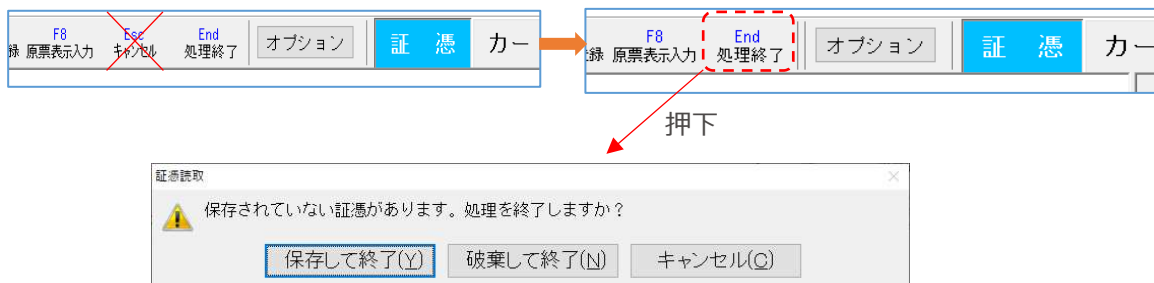
修正後の仕訳										
番号	日付	借方	貸方	摘要	金額	税額	消費税	免状	手形番号	手形期日
33	08.04	現金	現金		100					

通常入力タブでの修正時と同様に、一括修正でも可能としました。

修正後の仕訳										
番号	日付	借方	貸方	摘要	金額	税額	消費税	免状	手形番号	手形期日
33	08.04	現金	現金		100					06.06.06

②原票読取時のキャンセルを廃止し、[End 処理終了]押下で保存するかを確認するよう対応しました。

(※電帳法オプション契約のみ)



- ・保存して終了 ※メッセージ表示の際の初期値
サムネイル画像として表示されている証憑を保存して終了し、読取ダイアログを閉じる
- ・破棄して終了
証憑を保存せず破棄して終了し、読取ダイアログを閉じる
- ・キャンセル
確認メッセージ画面を閉じて読取ダイアログに戻る

③郵便局の領収書を仕訳入力画面からファイル読取して再認識すると金額が 0 円になっていたのを修正しました。(※電帳法オプション契約のみ)

④摘要欄にて摘要登録を行う際に、スペースが含まれている文字列の場合でも、スペースで区切らずに完全一致している場合のみ上書き登録となるように対応しました。(※電帳法オプション契約のみ)

例) すでに摘要辞書に 100 番「カド」の登録があり、読み取りした「カド 電気代」を登録する

●バージョンアップ前

- ・「カド 電気代」の摘要登録押下時、スペースで区切った文字列で同一摘要がある場合はその摘要を呼び出し上書き登録するよう動作していました。

摘要コード	100	上書き
認識/CSV摘要	カド	
摘要	カド	
カナ	カド	

●バージョンアップ後

- ・「カド 電気代」の摘要登録押下時、スペースで区切らず「カド 電気代」で摘要登録が行えるよう表示します。
- ※すでに「カド 電気代」で完全一致する摘要が登録済の場合は上書き登録画面を表示します。

摘要コード	1016	新規追加
摘要	カド 電気代	
カナ	カド	
消費税		<input type="checkbox"/> 免税事業者
登録番号		


- ・摘要を一部選択した文字で新規登録できるように対応しました。

摘要	カド 電気代	摘要コード	324	新規追加
		認識/CSV摘要	カ	
		摘要	カ	

⑤伝票形式で、伝票を構成する複数仕訳のうち一部仕訳の日付等を変更した場合のメッセージを変更しました。

(日付が異なるとき)


仕訳入力

 日付が異なる仕訳があるため、振替伝票を表示できません。日付を統一して振替伝票を表示しますか？

「いいえ」の場合、前の伝票を表示します。

(日付・伝票番号が異なるとき)

仕訳入力

 日付・伝票番号が異なる仕訳があるため、振替伝票を表示できません。日付・伝票番号を統一して振替伝票を表示しますか？

「いいえ」の場合、前の伝票を表示します。

⑥カード明細読取・通帳読取において、複合仕訳を含めて 1000 行以上となる場合での読み取りに対応しました。(※電帳法オプション契約のみ)

2) 科目設定・残高登録

- ①科目設定・残高登録の科目設定・変更タブの画面で会社選択ボタンを押して、インボイス未対応マスターを選択すると不正終了していたのを修正しました。
- ②仕訳に使用中の枝番であっても、番号の変更、削除ができてしまう場合があったのを修正しました。

II. 出力

1) 総勘定元帳

- ①出力した際に、イメージ摘要と科目名称とが重なって印字されていたのを修正しました。

2) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

①令和5年10月1日以降の簡易課税マスターで別記を使用して仕訳を入力した場合に、消費税額試算表の事業区分別の合計に仮受消費税等が加算され税込表記になっていたのを、税抜表記になるよう修正しました。

・仮受消費税等の金額を、事業区分別の収益、小計、別記課税売上、売上合計に加算されないようにしました。

現象の例) 現金/事業収益 1 1,000,000 0 別 10/他
現金/仮受消費税等 100,000 — 10/他

科目名称	損益計算書	その他事業
事業収益 1 別	1,000,000	1,000,000
仮受消費税等		100,000
経常収益	1,000,000	1,100,000
小計	1,000,000	1,100,000
別記課税売上	1,000,000	1,100,000
売上合計	1,000,000	1,100,000

例えば税抜の経常収益の合計は 1,000,000 となるべきところ、別記で入力した事業収益 1 の分の仮受消費税等の金額 100,000 が加算され 1,100,000 となり、事業区分別での税抜きの金額が確認できなくなっていました。

改良後)

科目名称	損益計算書	その他事業
事業収益 1 別	1,000,000	1,000,000
仮受消費税等		
経常収益	1,000,000	1,000,000
小計	1,000,000	1,000,000
別記課税売上	1,000,000	1,000,000
売上合計	1,000,000	1,000,000

※補足

仮受消費税等について、インボイス対応時に仕訳区分を追加できるようにしたため、その仕訳区分に仮受消費税等を表示しています。

②固定資産譲渡の仕訳がある場合に、消費税額試算表の「資産の譲渡」の合計が 2 倍になってしまうケースがあったのを修正しました。

・以下の条件で発生

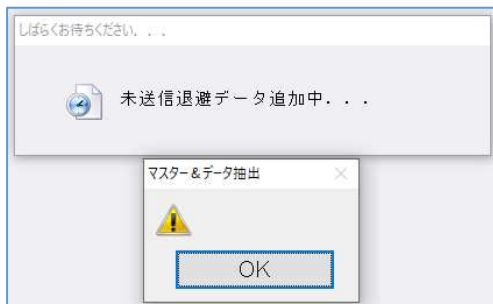
1. 会社登録の経理方式が税抜処理又は一括税抜処理
2. 固定資産譲渡の仕訳を「別記」で入力
3. 対価より簿価が大きい
4. F6 詳細設定 - 課税取引期間計より消費税額を算出する (総額) にチェック有、かつ、消費税区分が別記の場合、行を分けて表示するにチェック無
5. 「既定 (税抜)」又は「既定 (一括税抜)」設定

科目名称	損益計算書
建物	5,000,000
資産の譲渡	10,000,000

Ⅲ. 通信・移動

1) マスター&データ抽出

①月指定のデータ入れ替えで空白のエラーダイアログが表示され不正終了する場合があったのを修正しました。



《現象の起きる条件》

- ・未送信仕訳がある
- ・未送信仕訳に取り消し仕訳があり、イメージ摘要が使用されている
- ・取り消しされていない未送信仕訳にはイメージ摘要が使用されていない
- ・データ入替で送信したデータを取り込む

現象の出ている操作例

顧問先側

- 1.事務所：取消仕訳（イメージ摘要仕訳）ありマスターを「顧問先へのマスター&データ送信・移動」業務で「修正可能転送（顧問先へ）」「マスター全体入替」で処理
- 2.顧問先：1.で作成された IZM ファイルを【顧問先用】マスター&データ抽出で抽出処理
- 3.事務所：仕訳を追加（イメージ摘要はなし）後、「顧問先へのマスター&データ送信・移動」業務で「顧問先への移動」「データ入替（月指定）」で処理
- 4.顧問先：3.で作成された IZM ファイルを【顧問先用】マスター&データ抽出で抽出処理時、以下のメッセージを表示し処理中断
「（抽出先）マスターには、「会計事務所への送信済」仕訳が無いため、受信した仕訳データの抽出は、行えません！」
- 5.顧問先：「会計事務所へマスター&データ送信・移動」業務で、「未送信データの送信（追加）」で処理
- 6.顧問先：4.のデータを【顧問先用】マスター&データ抽出で再度抽出処理を行うとエラー

会計事務所側

- 1.事務所：OCR 処理を行うマスターを「顧問先へのマスター&データ送信・移動」業務で「顧問先へ移動」「マスター全体入替」で処理
- 2.顧問先：1.で作成された IZM ファイルを【顧問先用】マスター&データ抽出で抽出処理実行
- 3.顧問先：仕訳を追加（イメージ摘要はなし）後、「会計事務所へマスター&データ送信・移動」業務で「送信済データを含めた送信（入替）」で処理
- 4.事務所：イメージ摘要の仕訳とイメージ摘要でない仕訳を追加後に、イメージ摘要の仕訳を取り消し
- 5.事務所：3.のデータを【会計事務所用】マスター&データ抽出で取り込もうとするとエラー